

アフターコロナのワークプレイス、ワークスタイル

運輸政策セミナー 2021年7月30日

関西大学社会学部・教授 松下 慶太



松下慶太

関西大学社会学部メディア専攻教授。神戸出身。
京都大学文学研究科、タンペレ大学（フィンランド）、
ベルリン工科大学（ドイツ）客員研究員、
実践女子大学准教授を経て現職。

海外でのワーケーション経験、フィールドワークから
メディア論を軸に働き方・働く場所を研究。



「働きたいように働ける」社会へ

居心地の良さこそが最大の企業価値になる

経歴してわかった「リモートワーク」の課題とは？

「ワーケーション」で長時間労働は改善するか？

オフィス不要ではなく、「焚き火のオフィス」が求められる？

「仕事場」の多様性が、幸せな「働く」を生む！

関西大学 社会学部教授 松下慶太

アワー クスタイ ナル

アフター コロナ

イースト・プレス

松下慶太 Keita Matsushita

モバイルメディア時代の働き方

拡散するオフィス、集うノマドワーカー

勁草書房

テレワーク ワーケーション heido asobo

コワーキングスペース クリエイティブ・オフィス

ノマド 「働く」を取り巻く環境が絶えず刷新される時代、私たちは「働きたいように、働きたい」のだ。

Workation

ワーカーが休暇中に仕事をする、あるいは仕事を休暇的環境で行うことで取得できる休み方であり、働き方。また、仕事に効果があると考えられる活動を伴うこともある。





↓
快適追求型

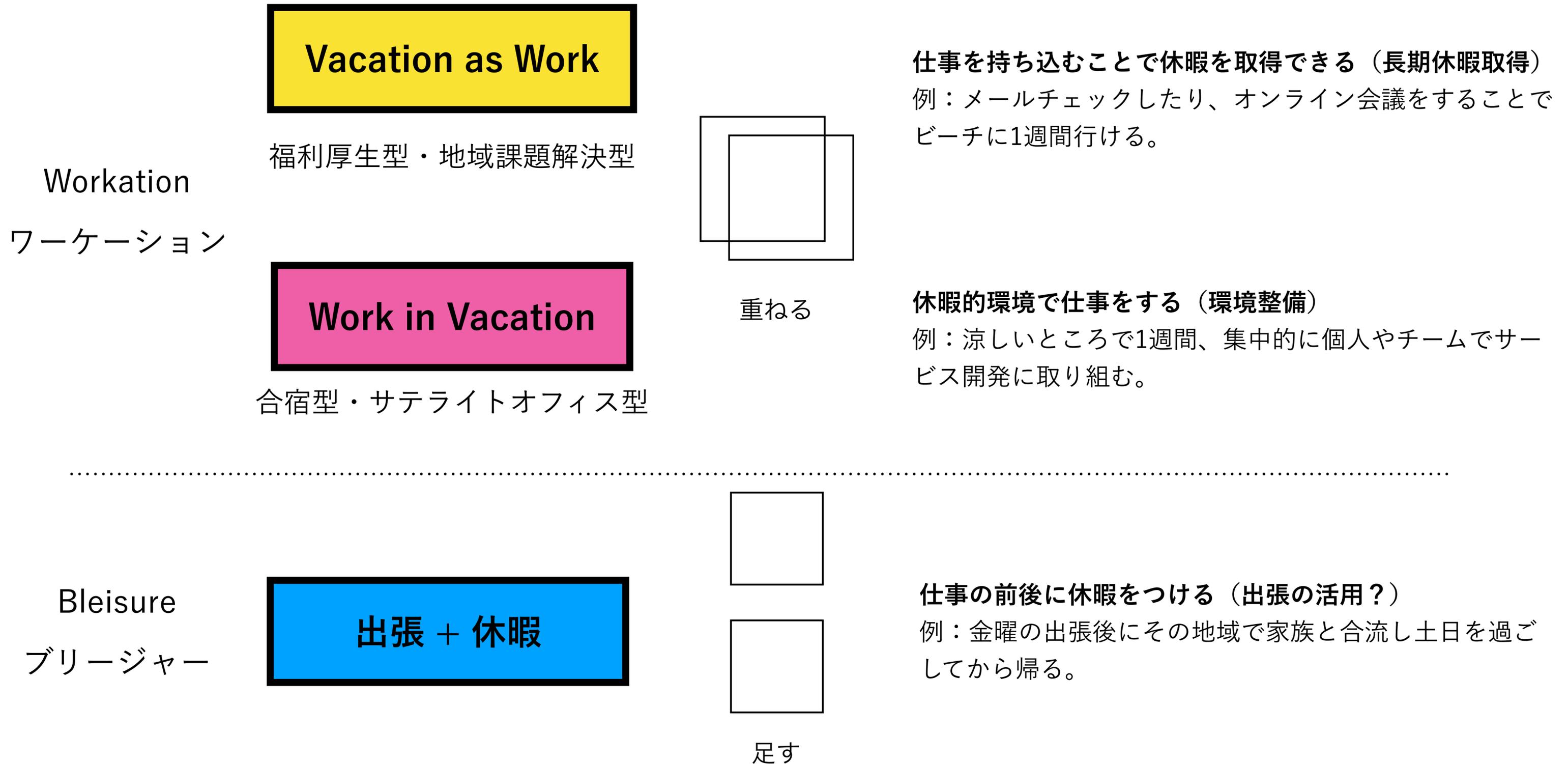
仕事に良い環境を求めた結果

↑
ギャップ型イメージ

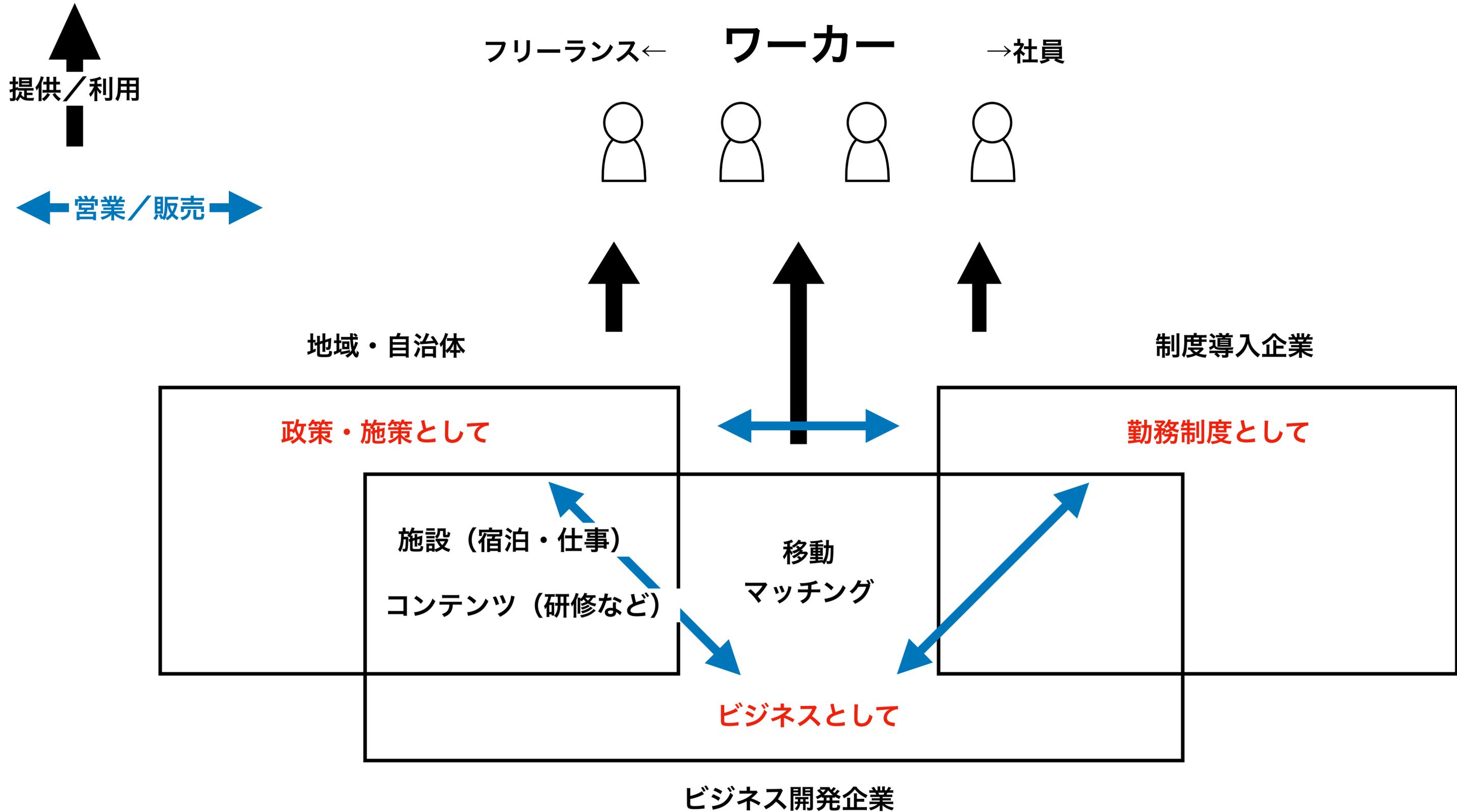
正直しんどい
特に仕事はかどるわけではない



ワーケーションの整理



日本型ワーケーションの見取り図



欧米型ワーケーション

デジタルノマドの
ライフスタイル、ワークスタイル

ワーカーの自発的活動

日本型ワーケーション

企業・地域が推進する
ライフスタイル、ワークスタイル

社員として制度利用

世界的にスロートラベルのトレンド
世界とは異なる日本型ワーケーションをつくっていくチャンス

2021年以降はワーケーション2.0へ

ワーケーション 1.0

ワーケーション 2.0

気晴らし・娯楽のレクリエーション	レクリエーション	Re-Creation（再創造）
代替・穴埋め	観光の	再定義
観光客（交流人口）	ワーカーの位置づけ	関係人口
単発・短期間	滞在	継続/連続・比較的長期
消費する人	接し方	パートナー
生産性向上：ワークスタイル	仕事において	刺激・転機：ライフスタイル
交流	地域との関係	価値創造
寛容さ	地域が提供するもの	ホスピタリティ、関わりしろ

ハイブリッド・ワークスタイルとWFX

デファクト・スタンダードとしてのハイブリッド・ワークスタイルへ

Googleのハイブリッド・ワーク

- 全体の2割は恒久的テレワーク、6割がハイブリッド、2割は別のオフィス
- 1週間のうち3日をオフィスで、2日は「最適な場所」から勤務
- 1年のうち4週間はマネージャーの承認のもとどこからでも勤務可能

Wall Street Journal 2021/5



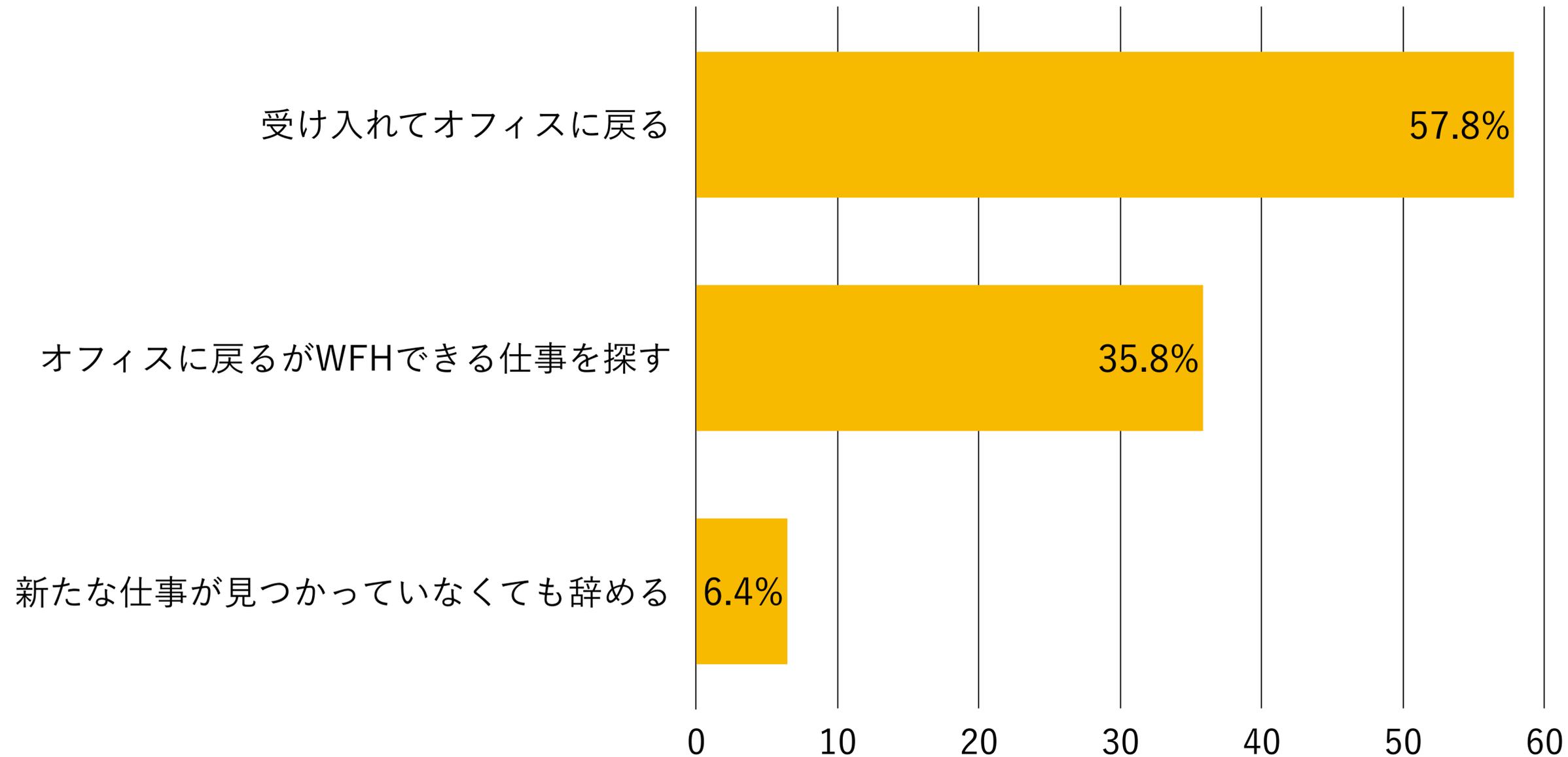
Appleのハイブリッド・ワーク

- 月・火・木のオフィス勤務 → 従業員の反発
- 小売店従業員向けのRetail Flexプログラム



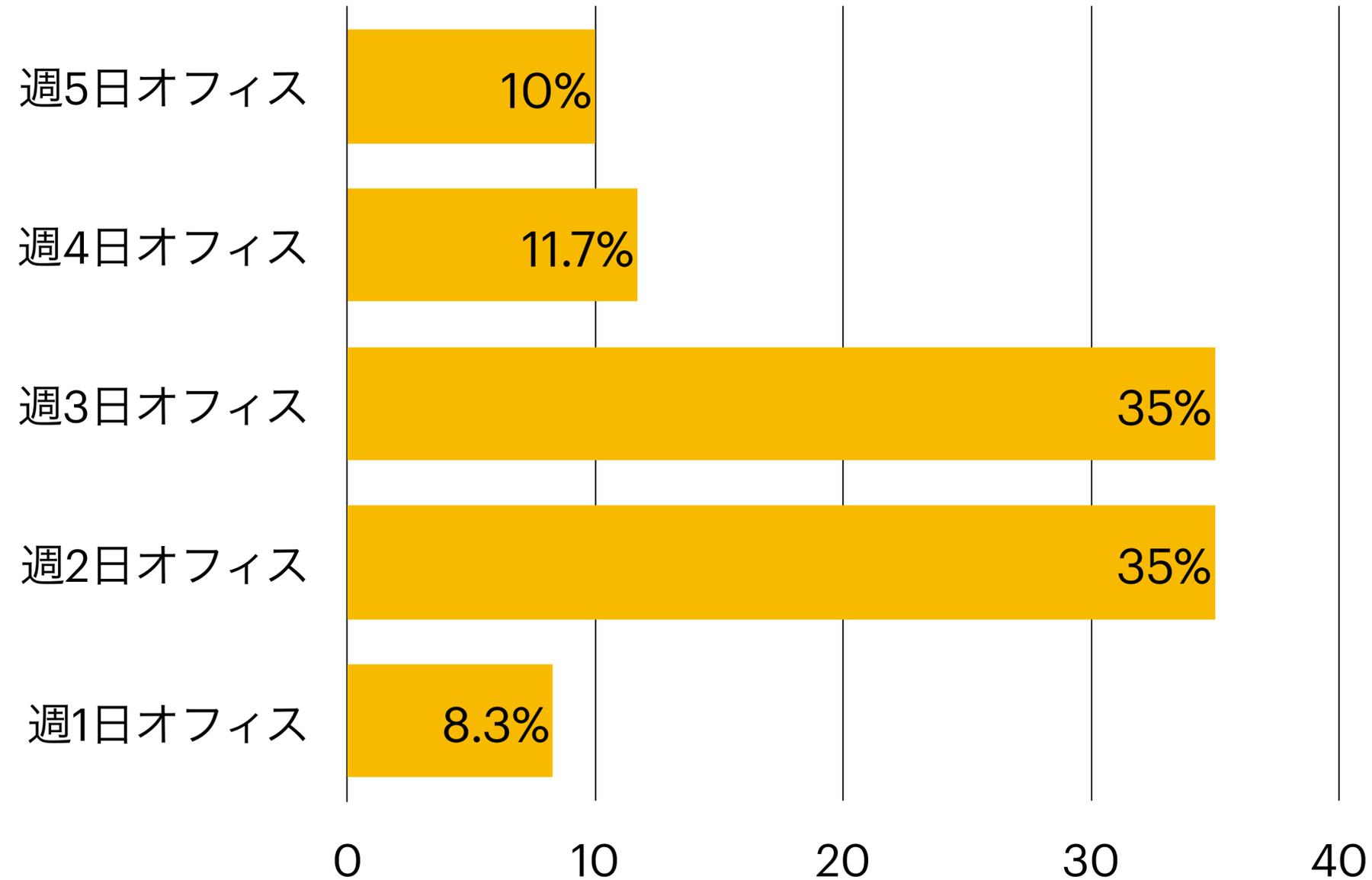
週5日オフィス勤務に戻れるのか？

雇用主が8/1から週5日のオフィス勤務に戻すと宣言したらどのように反応するか？

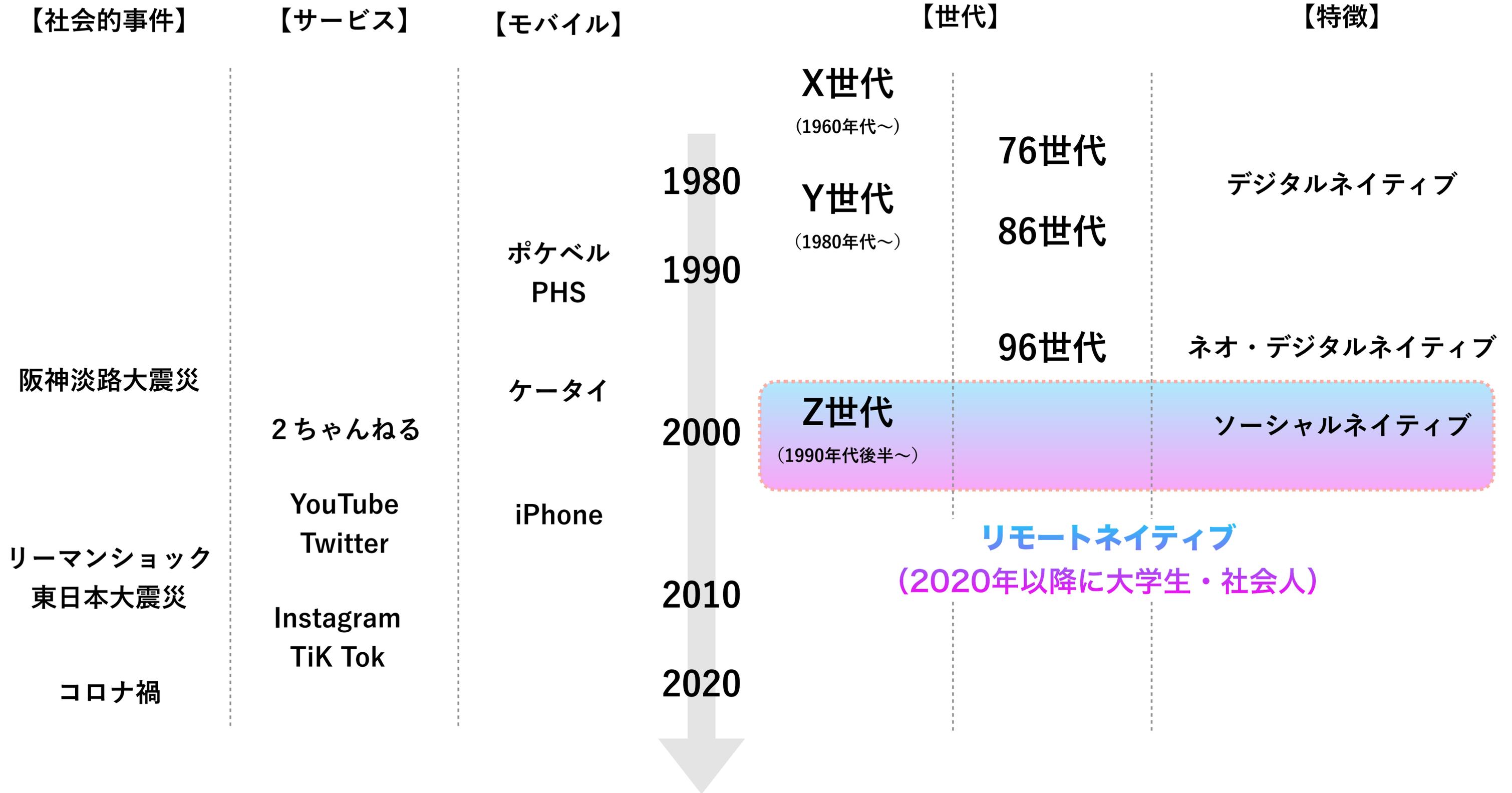


週5日オフィス勤務に戻れるのか？

オフィス（本社・サテライト）を利用できるとしてWFHに対してどの頻度で利用して働きたいか？



リモートネイティブの登場



週休3日制度の検討

給与そのままの「週休3日」で生産性向上も アイスランドで試験導入

2021年7月6日



GETTY IMAGES

アイスランド・レイキャピクの市役所

アイスランドの研究者らは4日、アイスランドで2015年から2019年にかけて実施された「週休3日制」トライアルについて、「圧倒的な成功」を収めたと評価した。多くの労働者が短時間勤務をするようになったとしている。

このトライアルでは労働者の勤務時間が短縮された一方で、これまでと同額の給与が支払われた。

研究者によると、大多数の職場で生産性が維持されたか、向上したという。

INDEPENDENT

Subscribe

LOGIN



News > UK > UK Politics

Spain's left-wing government could help companies switch to four-day working week

Finance ministry considers pilot to provide aid to firms that make the switch

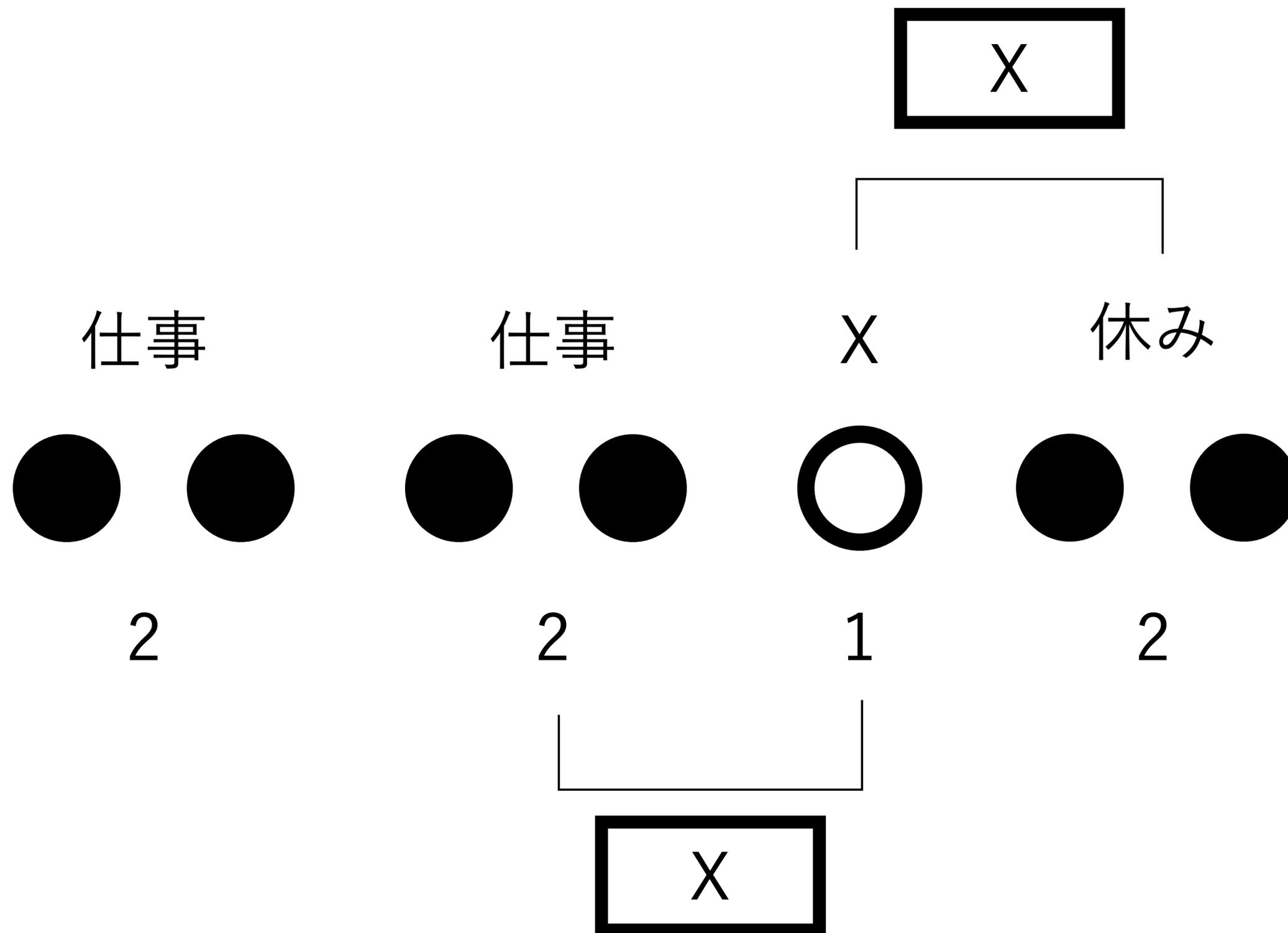
Jon Stone Policy Correspondent | @joncstone | Tuesday 24 November 2020 18:55

| comments



Spanish workers could soon have more time off (Getty Images)

ハイブリッド・ワークスタイリング時代における「2212」の編集



X, Yに何を代入するのか？

越境

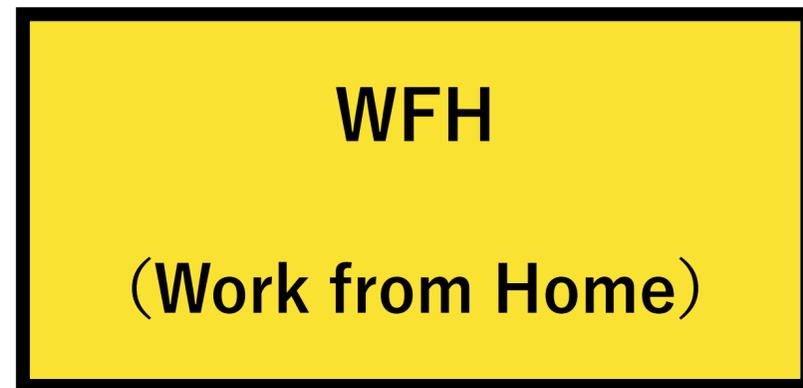
遊び

副業

休養

など

WFHからWFXへ



非日常的・強制的
絶対的
自宅
既存の代替
管理職や会社から
小さい



モード
オフィスの意味
働く場所
仕事の進め方
コントロール
セレンディピティの余地

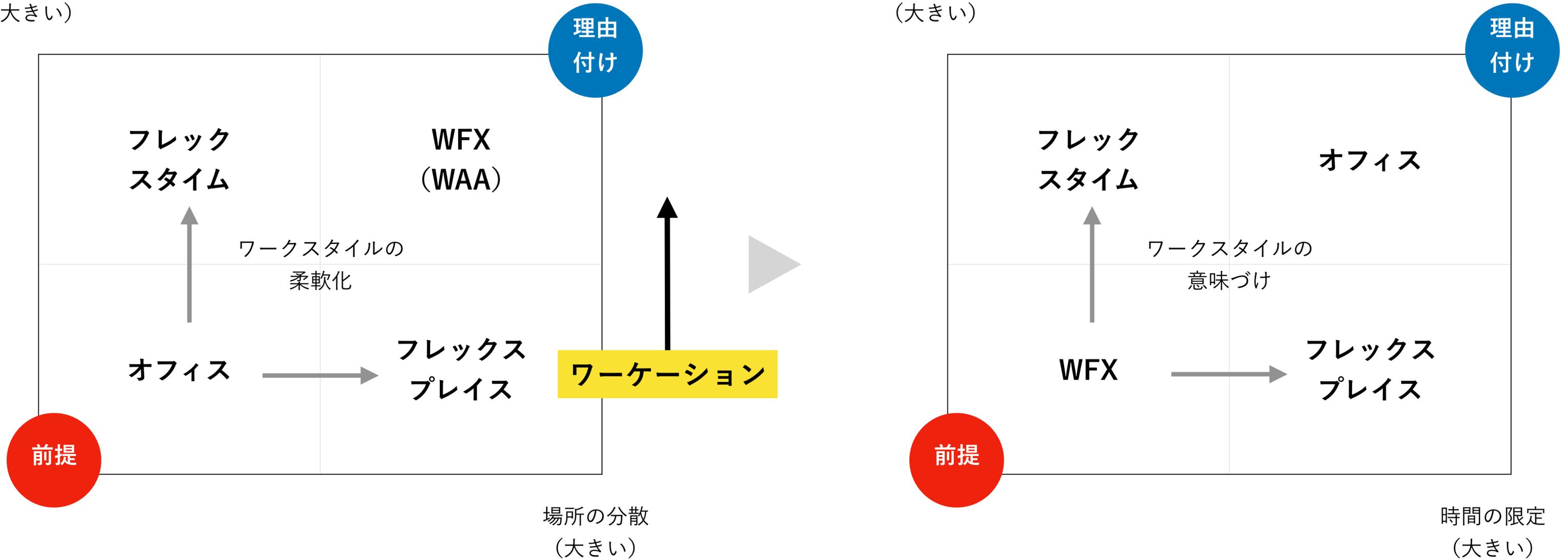
日常的・選択的
相対的
今いる場所
リモート最適化
自分で主体的に
大きい

リモートワークの課題のほとんどはリモートワークそのものよりもWFHが原因

ワークプレイス・ワークスタイルの転換

時間の分散
(大きい)

場所の限定
(大きい)



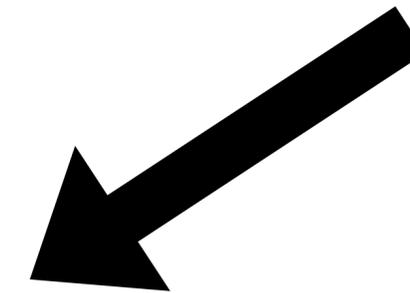
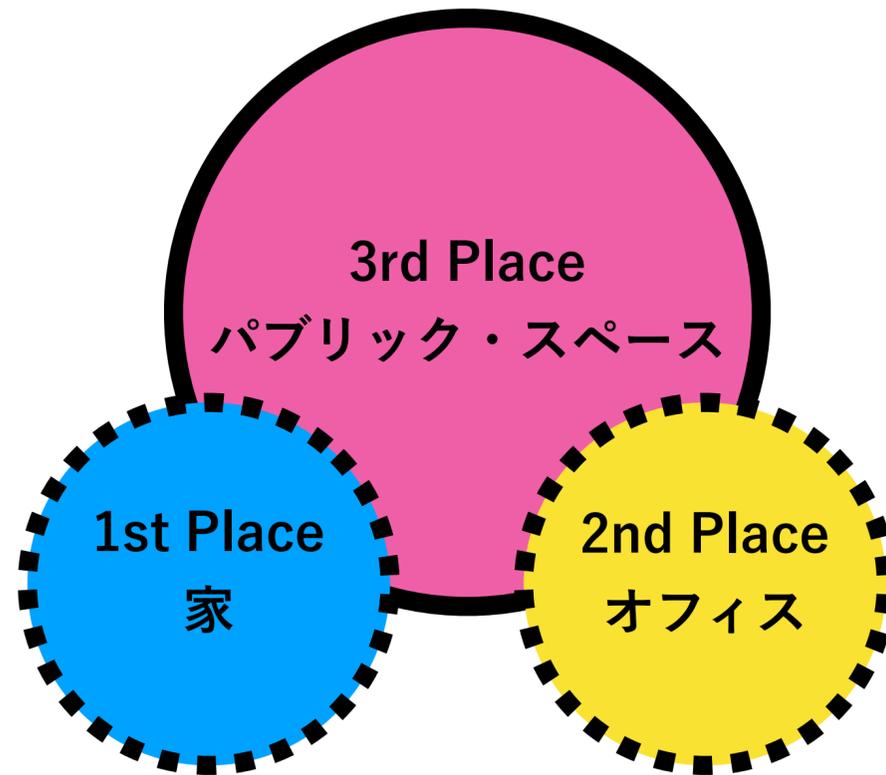
WFXネイティブなビジネス・価値観が出てくるまでがトランスフォーメーションの勝負

アフターコロナにおけるワークプレイスの捉え方



R. オルデンバーグ

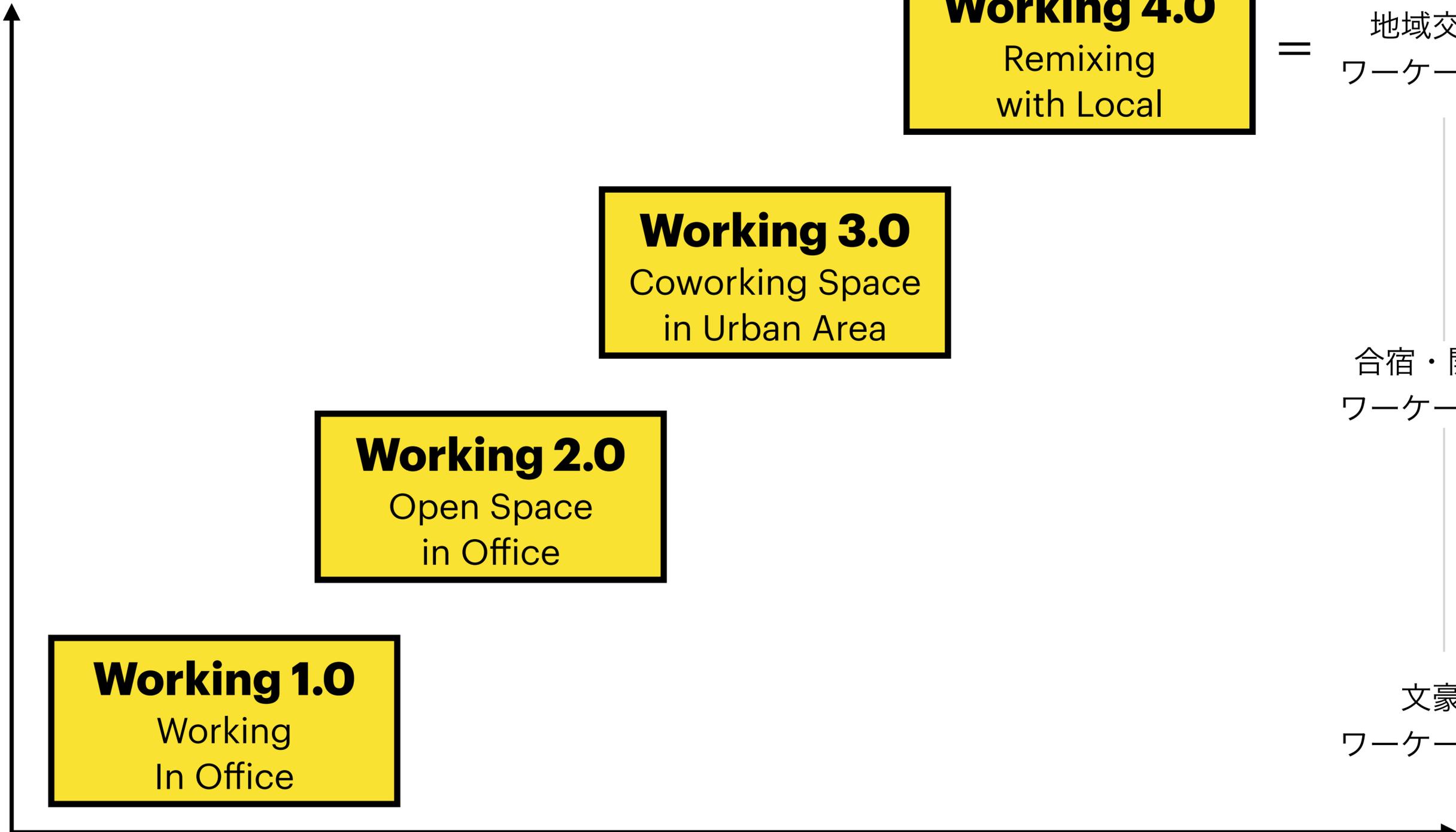
2010～ クリエイティブオフィス
1st, 3rd Place要素のオフィス空間への包摂
職住近接、オープンイノベーション



2020～ コロナ禍・アフターコロナ
WFXによって2nd Placeの拡散
(ワーケーション、アドレスホッパーなど)

Working Scapesとワーケーションの関係

異質との交わり



Working 1.0
Working
In Office

Working 2.0
Open Space
in Office

Working 3.0
Coworking Space
in Urban Area

Working 4.0
Remixing
with Local

=

地域交流型
ワーケーション

合宿・開発型
ワーケーション

文豪型
ワーケーション

普段のワークプレイス
からの距離

バランスから「重ねる：Superimpose」へ



オンライン会議、オフィスのあり方、ワーケーション、地域のあり方含めて
Superimposedなデザインができるか？スキルを身につけられるか？が今後重要に。

Overlayではなく Superimpose

Overlay



Superimpose

覆いかぶさる

意味合い

重ねる

バランス

個人の働きかけ

立体視

効率・優先順位

求めるもの

感覚・付加価値

計画・予測

すべきこと

フィードバック・意味づけ

ニュートン力学的

メタファー

量子力学的

アフターコロナのワークプレイス、ワークスタイル：2つの方向性

つながることを前提に「つながらないこと」の価値を高める

オンライン環境の整備、DX
対面・身体性、デジタルデトックス

「重ねること」のスキル、価値を高める

バランス・足し算・結びつき→かけ算・量子力学的
オンライン×オフライン、都市×地域、遊び×仕事

移動は別地点を「つなげる」ものだけでなく「離れる」「重ねる」を提供するものとしても捉え直される。

海外のトレンド

デジタル・ノマドの獲得競争へ

アフターコロナのワーケーション・デザインの分類

Switch Workation

(リフレッシュ・切り替え)

ブレジャーなど週末含めた3日を目安

制度として導入しやすい

休暇との区分がわかりにくい



土日=休日をあてるのは筋違い

月～金の3日（通常勤務）をあてられるか？

Immersed Workation

(浸る・腰を据える)

月～金をあてる

リッチ・本格的な経験をしやすい

ワークフローそのものの構築が必要



観光との両立が可能なのか？

デジタルノマド獲得の競争力を育てられるか？

New Digital Nomads Village on Madeira Island

03/08/2021



Ponta do Sol, Madeira. Pict: Digital Nomads Madeira Island

Are you considering working remotely? You now have a lovely opportunity to work while living on a beautiful European island, where the Atlantic Ocean meets high mountains. An island where Portuguese culture meets both Hawaii-like and Iceland-like landscapes. An island, where the more you explore, the more you want to see and your bucket lists magically get only longer and longer...





Digital Nomads Madeira Islands - Nomad Village - Ponta do Sol

マデイラ州、Startup Madeiraとの連携

Bali delays reopening but plans 5-year visas for digital nomads

PUBLISHED : 29 JUN 2021 AT 12:24

WRITER: REUTERS



| Fish swim at a coral reef garden in Nusa Dua, Bali, Indonesia, May 28, 2021. (Reuters file photo)

JAKARTA: Indonesia's government will wait until Covid-19 cases fall significantly before opening Bali to foreign tourists, the country's tourism minister said in an interview, adding that digital nomads will be granted 5-year visas and face no taxation on foreign-sourced income.

Estonia is launching a new **Digital Nomad Visa** for remote workers

We're happy to announce that Estonia has launched a new Digital Nomad Visa that allows remote workers to live in Estonia and legally work for their employer or their own company registered abroad.

Digital nomads and remote workers have long faced ambiguity when working while they travel, often skirting the law by working while visiting a country with a tourist visa.

But as of August 1, 2020, eligible location-independent workers can apply for the chance to come to Estonia to live for up to a year with peace of mind that they can legally work.

Estonia has already transformed the way a country serves people beyond its borders through programmes such as e-Residency. Now with the Digital Nomad Visa, Estonia is transforming how people in the world choose to work.

Sign up for the e-Residency newsletter to receive updates and more information on the Digital Nomad Visa.

SUBSCRIBE

アフターコロナに向けた企業におけるワーケーションの価値

自律型人材の確保・育成

意図性・先の見通し・自己反応性・自己省察性

Bandura, A. (2006). Toward a psychology of human agency.
Perspectives on psychological science, 1(2), 164-180.

「自律」の水準が高くなるほど、「ワークエンゲージメント」「組織への共感・愛着」「不測の事態における従業員の主体的活動」は増加

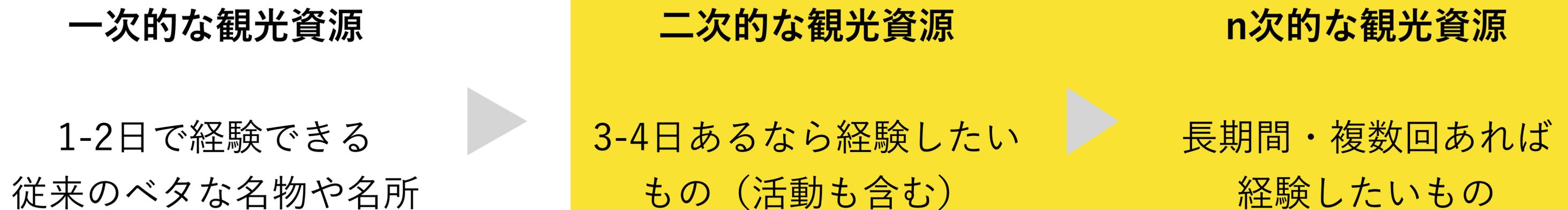
リクルートマネジメントソリューションズ「自律的に働くことに関する実態調査」
<https://www.recruit-ms.co.jp/press/pressrelease/detail/0000000322/>

人材の共創、地域の共創

地域と地球への働きかけ

Local Tech（食、流通、金融、環境など）
SDGs, ESG, 人間主義経営など

地域でワーケーション資源を発掘・デザインする



「ワーケーション資源」

※見る・食べるだけではなく
教育や趣味、自然、活動など
になりうる

働きたいように、働く社会を！

e-mail : keita-m@kansai-u.ac.jp

